

令和8年 第3回国東市議会定例会 一般質問予定表

■9月9日（水）

質問 順序	質問者 (議席番号) (会派名)	質問事項	質問の要旨	質問 相手
1	吉武 隆 (2番) (新風会)	1 若者の市外流出と定住対策について	①本市における若年層の転出・転入の推移及び市外へ転出する主な理由をどのように分析しているか。また、これまでの転出抑制及びUターン促進策の成果と課題はどうか。	市長
			②若者が市内で安定して暮らし続けられるよう、雇用と所得の確保、住宅支援、結婚・出産・子育て支援、教育環境及び交通手段の充実を、今後どのように総合的に進めていくのか。	
			③市内在住の若者及び市外へ転出した若者の意見を施策に反映するとともに、転出抑制、Uターン及び雇用創出等について具体的な数値目標を設定し、施策の効果を検証する考えはあるか。	
		2 国東ブランド魚の振興について	①「くにさき銀たち」やサワラ（しろ）など、本市のブランド魚について、漁獲量、販売額、販売単価及び認知度の現状をどのように把握しているか。また、これまでの振興策の成果と課題はどうか。	市長
			②ブランド価値と販売単価の向上を図るため、品質基準、鮮度保持、加工・冷凍技術、商品開発及び情報発信を強化するとともに、市内飲食店、宿泊施設、学校給食、ふるさと納税等への販路を拡大する考えはあるか。	
			③国東ブランド魚の振興を漁業者の所得向上及び担い手確保につなげるため、漁業者、漁業協同組合、加工・流通事業者及び行政による推進体制を構築し、販売額、販売単価、取扱店舗数、新規就漁者数等の数値目標を設定する考えはあるか。	
		3 学校給食における市内農水産物の活用と販路確保について	①学校給食における市内産農水産物について、品目別の使用量、使用割合及び購入金額をどのように把握しているか。また、市内産食材の使用割合について具体的な目標値を設定しているか。	市長
			②市内産農水産物を学校給食で安定的に使用する上で、価格、供給量、規格、加工、保存、配送及び衛生管理等にどのような課題があるか。また、給食センターと生産者及び関係団体が、年間の献立や必要量を事前に共有する供給体制を構築する考えはあるか。	
			③学校給食を市内農水産物の安定した販路として位置付け、生産者及び漁業者の所得向上につなげるとともに、子どもたちが生産現場や地域の食文化を学ぶ食育を推進する考えはあるか。	
2	石川 泰也 (10番) (緑風会)	1 国東市内業者・企業の労働者不足について	①国東市内業者・企業労働者不足の対応策は	市長
			②公務員（国東市職員）の副業について、法的には原則として任命権者の許可制となっているが国東市の現状は	
		2 国東市と工事請負業者や進出企業等の契約について	①契約書の保管期間、保管場所、契約内容の条件等の選考は	市長
		3 地区公民館使用料について	①社会教育課の公民館活動について、まちづくり推進課の管轄する地区運営組織の活動の一部と考え、地区民の公民館等の使用料を無料と出来ないか	市長

3	白石 徳明 (11番) (日本共産党)	1 防災対策について	①避難所となる学校体育館のエアコン設置の進捗状況はどうなったか。文科省は早期に整備することを進めているようだが、小学校の体育館の工事を早期に行うことは可能か。 ②熊本地震では10年前の教訓がいかされていないとの見方があるようだが、国東市で生かすべきことはあるか。 ・備蓄品購入費については知事会なども増額を求めているようだが、現在の備蓄品購入の財源はどのようになっているか。 ・避難所の食料は非常用の備蓄食料品のみとなるのか。温かい食べ物や、療養食などへの対応はできるか。 ③国東半島沖には新たな活断層が見つかり震度6強の予想となっているが、これまでの想定を超える対応は必要ないか。 ④災害対応については、専門家からの意見はどう取り入れているのか。	市長
		2 農業政策について	①2年連続の渇水対策が必要となり今後同じような問題が予想されるがその対応について。 ・農業用ため池の浚渫工事が必要ではないか。国の予算確保に向けた取り組みは出来ないのか。 ・防災対策（大雨対策）としても有効な事業になるが、どのように考えているか。 ・中山間直接支払や多面的機能支払の交付金が活用されているが、ため池や水路の維持にはこれまで以上の取組が必要ではないか。 ②生産者米価の下落が起きている。政府は従来の備蓄米量在庫になるよう買い戻すよう提言すべきではないか。また、市場任せの米価ではなく生産者米価と小売価格の安定に国が責任を持つよう提言するべきではないか。	市長
		3 介護保険制度について	①介護保険は第10期から、「特定地域」考え方について。 ・利用者の負担はどうなるのか。保険料への影響はどう考えるか。 ・介護施設への影響はどう考えるか。 ・サービスの利用については、市としての支援について拡充すべきではないか。	市長
4	坂本 隆之 (8番) (自由民主党)	1 市民協働のまちづくりについて	①まちづくりには市民協働の視点が欠かせないとする。しかし、現在進められている都市型公園整備事業では一部市民から松林伐採の不満が寄せられた。他方、若者会議が始まり、2・30代の意見が市政に寄せられたり、市民団体が野球大会を自主開催する等、今後に期待をしている。 ・都市型公園整備 二転三転した公園整備もようやく着工。しかし、松林伐採に対して市内外から疑問の声が寄せられた。市長は【市民の声を聴く】と言い続けてきただけに残念。しかし、注目を集めたことはチャンス。事業を市民協働のきっかけにするべきだ。 例) ・松林の由来を掲載した看板を個人や企業の協賛を得て設置する。 ・【次の350年】に向けて植樹、シンボルツリーに。 ・ベンチや維持費を協賛で購入。企業名を入れる（城島高原方式） ・若者会議など市民意見の集約 自分の意見で街が変わったと感じることは、主体者としての意識醸成につながる。当該会議は、2・30代だけを対象としているが、誰でも意見が可能な【意見箱】がある。改めて、意見箱に寄せられた声は年間どれくらいで、どのような処理をされるのか。設置場所はどこか。 ・体育施設 ほか 市営体育館や陸上競技場、廃校、公園、市道など市有財産に企業名を入れるネーミングライツを実施してはどうか。	市長
		2 持続可能な農業の実現について	①高齢者の離農、担い手の減少、物価高、生産品市場価格の乱高下。これからの農業経営について担当課の考えを伺う。 ・都市計画区域内の荒廃農地 河畔公園にする予定だった地域の農地が荒廃している。行政の責任は極めて重いとする。また、都市計画地域にある水田は比較的高低差が少なく畔を除去することで生産効率が上がりやすく、荒野地を巻き込めば環境維持にもつながるが、集積できる面積規模が小さく、既存の助成事業に乗りにくい。 ・鳥獣害対策 長野県で数百頭の群れた鹿がニュースになった。国東市内も鹿・イノシシによる獣害は増えてきているように感じる。防戦は先送り。頭数管理しか共生の道はない。 ・捕獲頭数の推移 ・頭数制限の撤廃 ・地域、人数限定した夜間狩猟の実施 ・渇水対策 2年続けた渇水。対症療法では限界があり、どんな状況になっても安定的に生産ができる環境を整える意識が必要だ。しかし、直面していた危機も喉元を過ぎれば忘れてしまいがち。溜池の機能回復や渇水対策を指導する必要がある。 ・井堰の管理、特に堰板式の管理 ・溜池管理 ・ボーリング ・物価高騰対策 R7.12月補正【担い手確保・経営強化支援事業】要望調査 手を挙げたのか	市長

5	河野 盛次 (3番) (無所属)	1 少子化対策としての産科医療体制について	①産科医療体制の重要性について 少子化対策としての産科医療体制の重要性についての市長の考え方を伺う。	市長
			②地域再生フォーラム国東が市長に提出した意見書の取り扱いについて いつどのように対応したのか、その結果どうであったのか伺う。	
			③少子化対策としての産科医療機関の整備支援について 杵築市のクリニックを国東市のこととしてとらえ、国東市として、或いは杵築市や姫島村と連携して「国東半島産科医療センター」として支援することについて市民病院に再度産科ということを含めて市長の考えを伺う。	
		2 主要県道「豊後高田安岐線」塩屋工区の整備促進について	①開通に向けての整備の進捗状況について 旧安岐町時代からの悲願の道路である。開通に向けての進捗状況を伺う。	市長
			②開通に向けての市長の決意について 地元市町村の熱意が工事の進捗を左右する。市長が自ら動いて事業を前に進めてもらいたい。市長の決意を伺う。	